

@の正式名称はアットマークじゃない

「@」がアットマークと呼ばれる記号なのは、よくご存じの通り。しかし正式名称は、実は違う。ユニコードという文字コードを定めた規格書の中では、「commercialat」（コマーシャルアット）が正式名称。JIS（日本工業規格）が定めた文字コード「JIS X 0201」でも同様。単に通称が「アットマーク」というわけ。ちなみに、経理の現場では別の用途でこの記号が使われており、この場合「単価記号」と呼ぶ。

興味深いことに、通称は国によって全く異なる。米国では「at sign」（アットサイン）。at は場所を意味する前置詞だ。ほかには、フランスでは「アロバーズ」（特に意味はない）、イタリアでは「キオッチョラ」（カタツムリの意）、ドイツでは「アフエンシュヴァンツ」（猿の尾の意）などと呼ぶ。

実は便利すぎる [Windows] キーの存在

窓のロゴが付いたキーが、キーボードの左下、[Ctrl] と [Alt] の間にある。[Windows] キーと呼ばれるこのキーを搭載した製品が初めて登場したのは1994年。以来14年もたつにもかかわらず、万人に活用されるようになったとは言い難い。が、使ってみると、これが意外に便利！だまされたと思って、一度ぜひ試してみてください。例えば、[Windows] キーを押しながら [D] キー。開いているウィンドウをすべて一気に最小化し、デスクトップ画面の全体を表示してくれる。

キー入力	実行内容
[Windows] + [D]	デスクトップを表示 / 表示前に戻す
[Windows] + [E]	エクスプローラ起動
[Windows] + [F]	ファイルを検索
[Windows] + [L]	画面をロック
[Windows] + [M]	全ウィンドウを最小化
[Shift] + [Windows] + [M]	[Windows] + [M] 実行前に戻す
[Windows] + [R]	ファイル名を指定して実行
[Windows] → [U] → [U]	Windowsを終了(XPのみ)
[Windows] + [Pause]	「システム」のプロパティを表示
[Windows] + [Tab]	タスクバーのウィンドウを順に選択



キーボードにある [Windows] キーは、アルファベットキーと組み合わせて押すことで、さまざまな処理を簡単に呼び出せる。使わないと損するほど便利なキーなのだ